

遠別町におけるICT利活用の状況

～人がつながる 地域がつながる 心をつなぐ「光の道」整備～

平成23年11月

遠別町役場
総務課 企画振興係

遠別町の概要

■平成23年9月末現在

人口 3,049人

世帯数 1,386世帯

高齢化率 65歳以上 34%
75歳以上 19%

遠別小学校 139人

遠別中学校 86人

遠別農業高等学校 59人

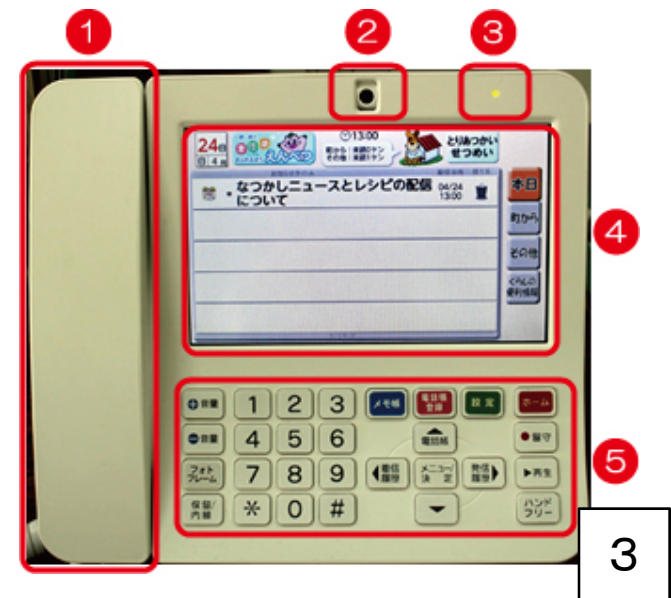


遠別町のICTの状況

- H21補正のICT交付金ほか臨時交付金を活用し、町全域に光ファイバーを整備し「光ファイバーでの地デジ再送信」「各世帯・事業所へのIP告知端末の設置」「ブロードバンド環境の整備」を行い、都市部と格差のない情報化環境となりました。
- 国の地域活性化交付金で「小中学校児童生徒パソコン（PC教室のみ）と教職員パソコンの整備」、さらには「電子黒板」を設置し、ICT社会に対応できる教育環境の実現に向け少しずつ前進しています。
- 携帯電話については概ね不感地域の解消が図られており、住民の方々の日常生活の利便性が高まっています。

IP告知システムの紹介

- ・ IP告知システム（テレビ電話：双方向システム機能搭載）では、全国瞬時警報システムと自動連動し、緊急地震速報や津波・大津波警報が受信できます。（防災無線屋外スピーカーへも連動しています）
- ・ 遠別町では、商工会・農協・学校関係など役場も含め11ヶ所よりIP告知端末へ情報配信が可能です
- ・ IP告知システムを活用し、行政からの情報や各団体からの情報も随時発信されています。
《音声および文字での情報発信》
- ・ 町内のテレビ電話同士での通話は「無料」



知らせますケン - Windows Internet Explorer

http://10.0.10.10:9000/preview/get/1321

Windows Live | Live Search の検索... | 更新情報 | メール | フォト | カレンダー | サインイン

お気に入り | おすすめサイト | Web スライス ギャラ...

知らせますケン

迷い犬の保護情報 11/17 13:55


迷い犬の保護情報

役場で保護している迷い犬の情報をお知らせします。
お心当たりの方は10月14日(8:30~17:00)までに役場生活課(7-2114)まで連絡下さい。

保護した場所: マナピィ周辺

保護した日時: H23.10.12 昼頃

首 輪: 有り



もどる

消音

再生

印刷

捨てる

ページが表示されました

インターネット | 保護モード: 無効

100%

知らせますケン - Windows Internet Explorer

http://10.0.10.10:9000/preview/get/1321

Windows Live Live Search の検索... 更新情報 メール フォト カレンダー サインイン

お気に入り おすすめサイト Web スライス ギャラ...

知らせますケン

トラックのリモコン (グレー) を探しています 11/17 14:08

トラックのリモコン装置 (グレー) を探しています

お知らせします。

本日午前10時ごろ、トラックのリモコン装置 (グレー、大きさは20cm程度) を紛失したとサンワリースより連絡がありました。

大変困っていますので、心あたりのある方は、サンワリース (7-1551) まで連絡をお願い致します。

もどる

消音

再生

印刷

捨てる

ページが表示されました

インターネット | 保護モード: 無効

100%

えんべつひかりタウン



「えんべつひかりタウン」とは、IP告知端末を利用して生活に便利な情報などの発信を目的としたもので、現在7つのコンテンツがあります。

【ひかりタウンの利用状況】

8月23日の開設以来、約800件(11/7時点)、一日あたり最大38件の町民の方にご利用いただいています。

【今後の予定】

広く町民の方から、町内で撮影した写真を募集し、告知端末での配信を企画しています。将来的には写真コンテストを開催するなど、コンテンツの充実を図っています。

【ひかりタウンのコンテンツ】

- ① 『防災豆知識』
地震や風水害が発生した場合の心得や非常時持出品の準備等の防災情報を掲載しています。
- ② 『写真館』
遠別町内のイベント等を写真で紹介する「えんべつのできごと」を配信しており、そのバックナンバーを掲載しています。
- ③ 『学校』
小学生向けの足し算や掛け算のflash素材を掲載しています。
- ④ 『空き家バンク』
町内の空き物件情報を掲載しています。「遠別町内に不動産屋がないのであったら便利」と、町民からの声を受けて制作。町外向けに役場ホームページにも掲載しています。
- ⑤ 『仕事バンク』
町内の求人情報を掲載しています。情報収集にあたっては、ハローワークや事業主への聞き取りを実施。町外向けに役場ホームページにも掲載しています。
- ⑥ 『リサイクル掲示板』
- ⑦ 『ゲームセンター』
子ども向けゲームコンテンツ

防災のコンテンツ

➤ 地震から身を守るために

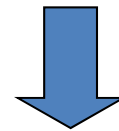
➤ 風水害から身を守るために

➤ 非常時持出の準備

➤ いざというときの応急手当

➤ 緊急連絡先

➤ 災害用伝言ダイヤル171



➤ 次へ

●地震の心得10カ条

1 まずわが身の安全を図れ

テーブルの下にもぐり身の安全を。けがをしたら火の始末や避難行動に支障がでる。

2 すばやく火の始末

日頃から習慣化を。火元付近の整理整頓を忘れない。

3 戸を開けて脱出口を確保

とくに2階建て以上の住宅では避難のための脱出口の確保が重要。

4 火が出たらすぐ消火

もし火災が発生しても天井に燃え移る前なら初期消火できる。できれば消火器を設置しておく

5 あわてて外に飛び出さない

あわてず落ち着いた行動を。外へ逃げるときは瓦やガラスなどの落下物に注意。

6 狭い路地やブロック塀には近づかない

屋外にいたら公園などに避難。落下物やブロック塀などの倒壊の危険のあるところには近寄らない。

写真館コンテンツー1

えんべつのできごと
バックナンバー

過去に配信した「えんべつのできごと」をご覧ください。
タッチしてご覧ください。

平成23年10月 4日配信No.5

平成23年 9月 1日配信No.4

平成23年 8月 5日配信No.3

平成23年 7月21日配信No.2

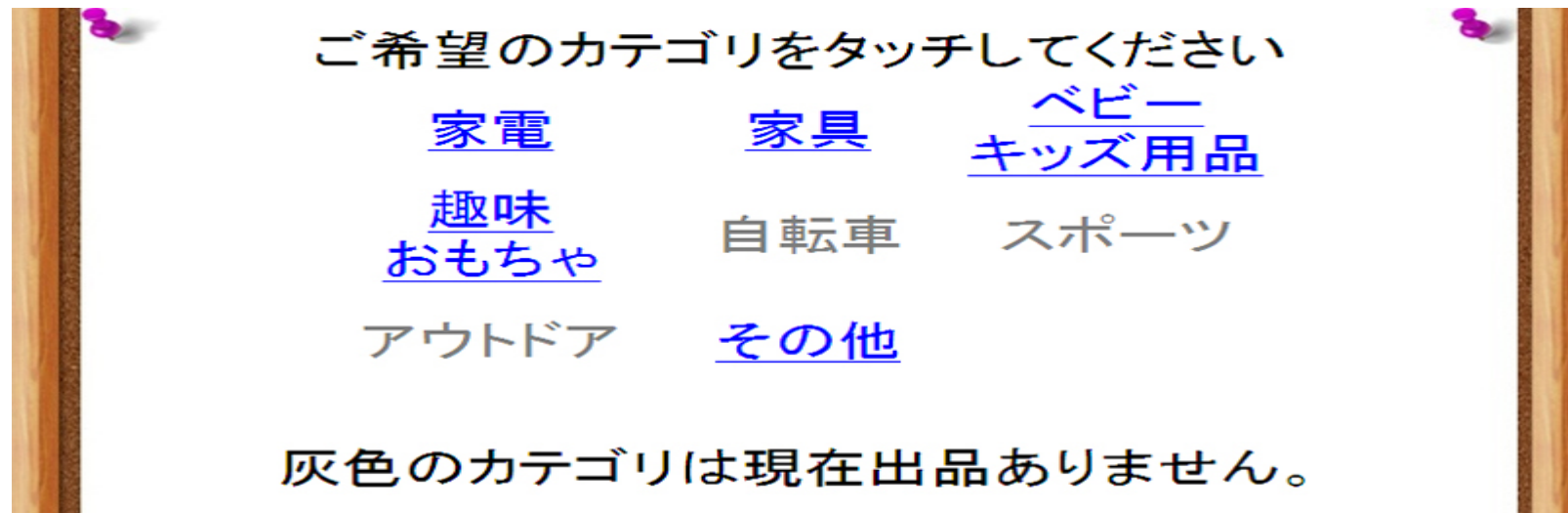
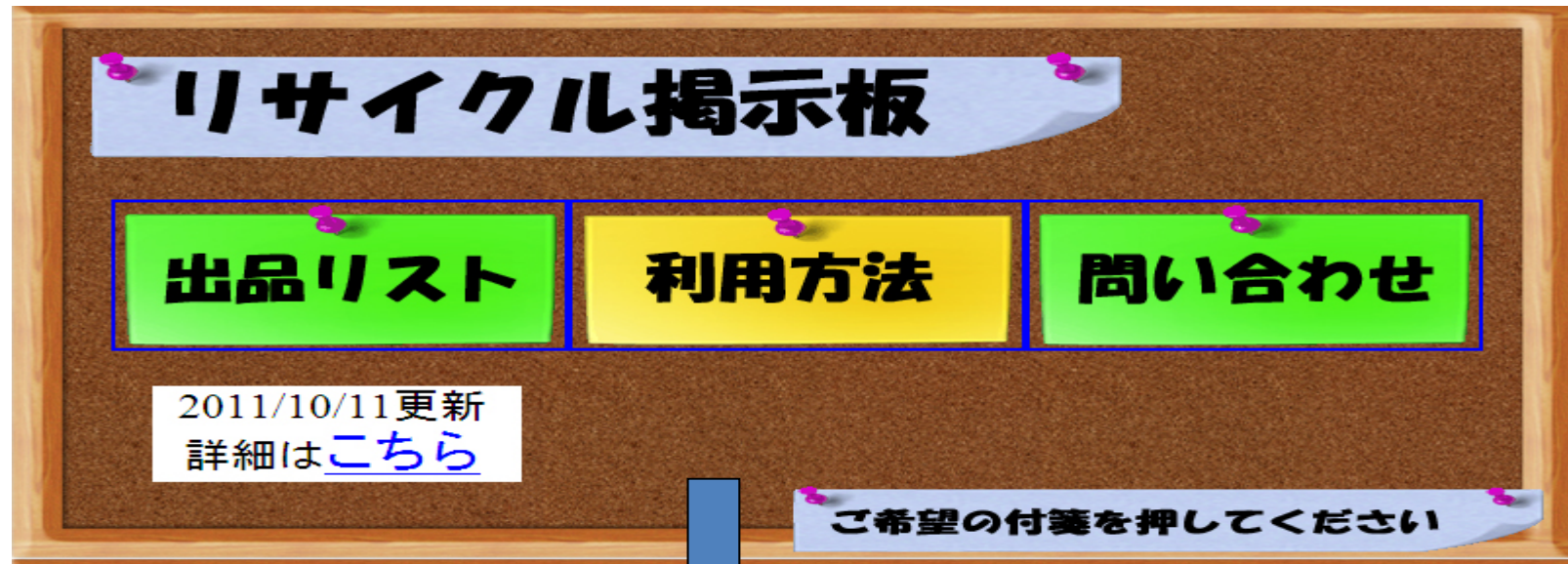
平成23年 7月 1日配信No.1

写真館コンテンツー2



★希望する方に、画像データを渡しています

リサイクル掲示板コンテンツ



空家バンクコンテンツ

遠別町内の一般の空家・空き物件情報をご紹介します。
 物件の詳細や詳しい連絡先については、遠別町役場総務課企画振興係か、遠別町地域おこし協力隊(町内テレビ電話のみ可)までご連絡ください。
 また、遠別町内で空家・空き部屋をお持ちの方で、掲載を希望する方からのご連絡もお待ちしております。

※こちらで紹介している物件や空き部屋については、公営住宅等とは異なります。また役場ホームページからもご覧いただけます。

- 遠別町役場総務課企画振興係 7-2111 (内線:216、217、223)
- 遠別町地域おこし協力隊 5-5101(遠別町内テレビ電話のみ可)

空家BANKの仕組み

空家情報



	建物外観	物件所在地	間取り	売買希望価格	その他
売買希望物件		字本町2丁目	3LDK	70~80万円 (土地(60坪)込)	ガス:プロパン 風呂:灯油 トイレ:洋式水洗
賃貸希望物件		字中央270番地	木造2階建	応相談	電気:北海道電力 水道:上下水道(町営) ガス:プロパン 風呂:灯油 トイレ:洋式汲取り 家庭菜園スペース 駐車スペース有(5台)

仕事バンクコンテンツ

遠別町内の求人情報をご紹介します。

求人の詳細や詳しい連絡先については、遠別町役場総務課企画振興係か、遠別町地域おこし協力隊(町内テレビ電話のみ可)までご連絡ください。

また、求人情報の掲載を希望する方からのご連絡もお待ちしております。


※こちらでご紹介している求人情報については、役場ホームページからもご覧いただけます。

■ 遠別町役場総務課企画振興係 7-2111 (内線:216、217、223)

■ 遠別町地域おこし協力隊 5-5101 (遠別町内テレビ電話のみ可)

仕事バンクの仕組み

仕事情報

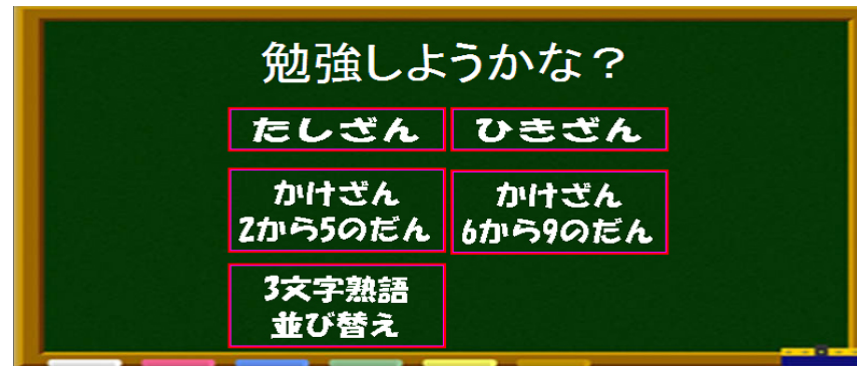


職種・必要資格等	人数	仕事内容	賃金	就業場所	その他	求人番号
技術管理者 資格:普通自動車免許(AT不可)、2級土木施工管理・2級建設機械施工技師・測量士補いずれか	1名	土木・建設工事に伴う現場管理業務	240,000円 ～ 260,000円	字北浜	加入保険等 雇用・労災・健康・厚生	02
水産加工員 平成23年12月25日まで 資格経験不問	3名	生蛸の処理加工作業など	130,500円 ～ 150,437円	字本町3丁目	加入保険等 雇用・労災・健康・厚生	04
牧場スタッフ 普通自動車免許 経験不問	1名	搾乳、飼育、酪農作業	160,000円 ～ 200,000円	字丸松	加入保険等 雇用・労災	05

[次へ](#)

学校・ゲームセンターコンテンツ

【学校コンテンツ】



【ゲームセンターコンテンツ】

ミニゲーム



小中学校のICT支援

現在、右記の2項目を中心に活動を行っています。



※ICT
Information and Communication Technologyの略。
「IT」に「コミュニケーション」(共同)性が加わることから、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現であるといえる。

【電子黒板の活用支援】

町内の小中学校には『電子黒板』が配置されています。

『電子黒板』は、事前に資料を用意しておけば黒板に書く必要もなく、また、画面上にタッチペンを使用することによって直接書き込めることができ、書いた内容を保存できるため、前回の復習が容易にできるなど利点がありますが、うまく活用ができていない状態にあります。

事前にアンケートを取った結果、積極的に電子黒板を利用したいが、操作方法がわからない、どのように活用したらいいのかわからないとの声がありました。

この結果を踏まえ、ファーストステップとして、協力隊員が電子黒板の基本的な使い方を把握した上で、簡単な操作説明会を開催しました。

セカンドステップとして各先生と個別で打ち合わせを行い、電子黒板向けの資料作成や活用方法など企画・検討し、各先生に見合った活用方法を支援しています。

【エクセルの活用による学校事務作業の効率化】

事務処理をするにあたってエクセルを使うことはよくあることですが、関数を使用することでさらに効率が良くなります。今までの実績として経理会計簿、各学期の時数計算、学力テストの結果の集計など関数を使用することによって作業負担の軽減を図りました。

教職員の方々の負担を軽減することにより、児童生徒へのきめ細かな目配りができる時間が確保でき、子どもたちへの間接的な支援につながっています

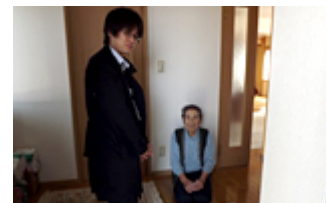
地域おこし協力隊とは

「地域おこし協力隊」は、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、上記のような意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

遠別町では、平成23年からこの制度を取り入れ、4名の方を地域おこし協力隊として委嘱し、一定期間以上、町内活動などへの支援や高齢者などの生活支援、イベント企画や観光情報の発信など、各種の地域協力活動に従事しています。

地域おこし協力隊に期待することは

- ①行政ができないことをやる
(行政サービスの「すき間」を埋める)
- ②隊員の個性を活かした活動による地域貢献
- ③活動内容は「協力隊の判断を尊重する」



遠別町における取り組み

【地域の活性化にむけた活動】

- 町産業に関するイベントの運営補助
 - ・ 山菜祭り
 - ・ ひらめオーナー
 - ・ 商工夏祭り
 - ・ 遠農羊祭り ほか
- 地域行事や町内会活動の支援
 - ・ 観桜会
 - ・ 敬老会
 - ・ 例大祭
 - ・ 花いっぱい運動 ほか

【高齢者などの支援】

- 生活支援
 - ・ 自宅周辺の草刈りや清掃活動
 - ・ パソコンなど電気機器の操作説明 ほか
- 御用聞き（町内モデル地区で実施）
 - ・ 高齢者の要望聞き取り
 - ・ 災害時要援護者の個別計画などの調整

地域おこし協力隊
地域マネージャー
※各町区・地域から選出

【地域情報の発信・共有】

- リサイクル品の仲介活動
「リサイクル掲示板」
- IP告知端末の利用（町民向け）
 - ・ 「えんべつひかりタウン」（常設）
 - ・ 「まちのできごと」（月2回）
- 町内外へ向けた情報発信
 - ・ 協力隊ブログによる町の紹介
 - ・ 道の駅「富士見」のホームページ開設協力

【隊員の個性を活かした活動】

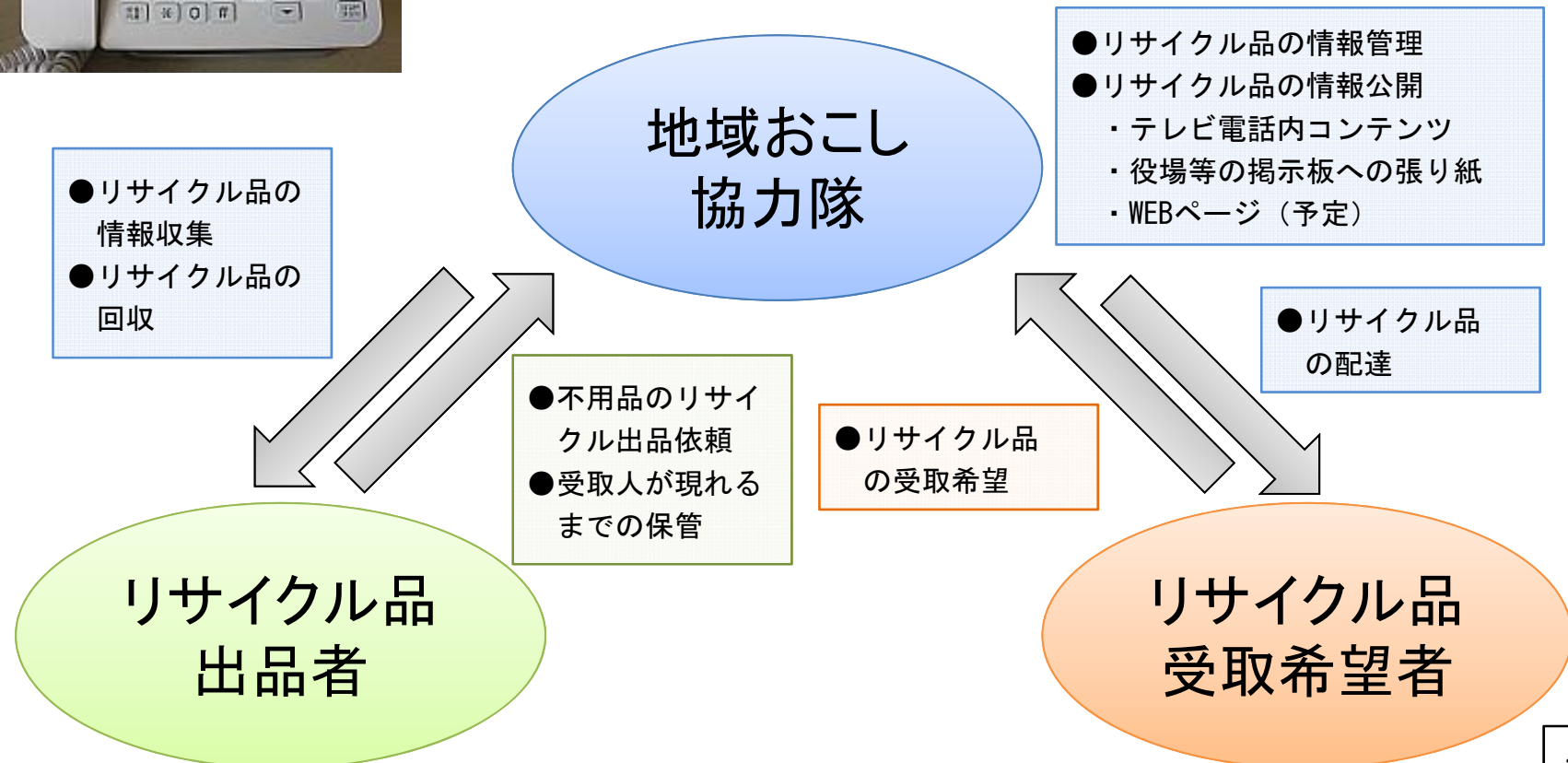
- 小中学校へのICT支援
 - ・ 電子黒板の活用やビジネスソフトの利用
- 地域の高齢者等の見守り体制構築
 - ・ 民生委員等と連携した情報共有と訪問
 - ・ 救急医療情報キットの設置
- 地域の自然環境保全に向けた取り組み
 - ・ 「金浦原生花園」の植生保全の取り組み
 - ・ 町民農園を利用した在来植物の栽培
 - ・ 町内自然観察会の企画実施

リサイクル掲示板



「リサイクル掲示板」とは、家庭で不必要となったものを、必要としている人に無料で譲渡する仕組みです。

遠別町で導入されているテレビ電話を利用し、どなたもが気軽に出品されているものをチェックできる仕組み作りが行われています。



救急医療情報キットの普及

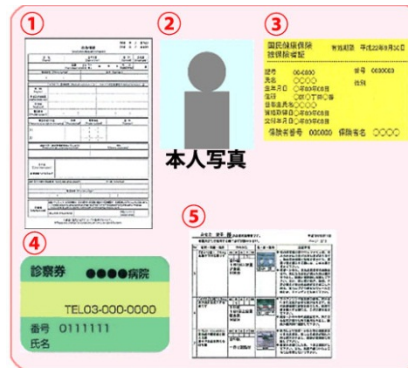
【目的】 町民（主に高齢者等）を対象とした緊急時の備えと協力隊の活動認知度の向上

【活動内容】

民生委員の方より情報キット製作の協力要請があり、容器デザインやマグネット、ステッカー、書式などを作成し、コピー機を車に乗せ、民生委員と協力隊の数名が集落（約40世帯）を回り、情報キットの配布・作成・設置を行いました。その際、集落の方々に協力隊の活動内容をもっと知って頂くためにチラシを作り、配布も致しました。

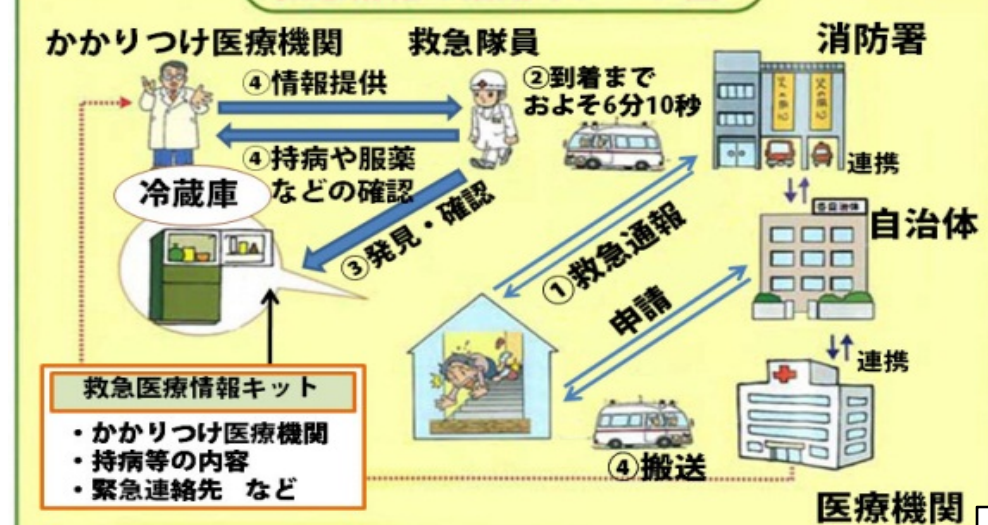
【これまでの活動成果】

大半の方が農業に従事している為、中々お会いできない方々ばかりでしたが、事前の告知のせいもあってスムーズに設置作業が進みました。地域の方々との顔繋ぎもでき、いろいろな意見なども聞けて、今後の高齢者対応を考える上でも参考になります。



①～⑤の内容を右の容器に入れ、冷蔵庫の中に入れておく。

救急情報の活用イメージ図



高齢者等が安心して暮らせる町づくり



【草刈り券】

- 【目的】 高齢者や障害者世帯への支援。
- 【内容】 毎月、広報の折り込みにて発行の「協力たいむず」（左図）7月号にて町内の全世帯に配布。
- 【活動結果と反省事項】 約1,300世帯に配布し、期間中の要望は5件。
（期間中に行った一部地域で行ったアンケートの認知度は37.5%）
募集を始めた時期が遅く、また必要とする方々への告知が不十分でした。

【見守り支援】

- 【目的】 高齢者世帯や障害者世帯の見守り。
- 【内容】 今年度から遠別町の全世帯に設置となった双方向システムを使って、安否確認をとる内容を特定世帯に配信し、管理端末で24時間の視聴状況を確認し安否確認をする取り組みです。
対象者が画面に触れると視聴状況に反映され、確認がとれます。
何らかの理由で対象者が24時間の間、画面に触れなければ町内無料のテレビ電話にて電話をして確認。電話にて確認ができなければ、訪問するという流れの見守りです。
- 【検討事項】 現状の見守りは協力隊のみで行う内容なのですが、今後は町内会や集落が主体になる見守り内容になればと、各地域の方々と話し合いをしながら進めています。

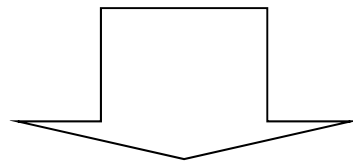


双方向システム(テレビ電話)



ICT事業後の町の様子

- ・地デジが視聴できるので孫が帰らなくなった！（高齢者：山間部）
- ・今まで視聴できなかった「TVH」が視聴できるようになり、うれしい！（幼児・小学生）
- ・テレビ電話で相手の顔が映るので、恥ずかしい（主婦）
- ・光ブロードバンド開通で仕事に関係する情報がたくさん入手できるようになった（農家：ISDN地区）



「住民の笑顔が多くなった」
「共通の話題が持てるようになった」

《都市部との情報格差解消》《地域内の情報格差解消》

ICT事業による効果

- テレビ電話設置により町内通話が無料
（参考：10月通話時間 約1400台 計 908時間）
（携帯電話所持者は、一般電話を解約している方もいる）
- 行政情報の発信が頻繁に、かつ、リアルタイムで実施
（月2回の回覧板を来年4月から月1回に減）
（回覧板の回数減により、町内会の人的負担軽減やペーパーレス）
- テレビ電話（双方向システム）を使っでの商品広告「12月～」
（町内の話題性や普段来ないお客さんが来るようになる）
- フレッツ開通により「情報化社会の一員」となった
（ネットショップなどができるようになり、選択肢が増える）
（情報入手で「生活の幅が広がる」「心の豊かさにつながる」）

『ブロードバンド環境で住民福祉が向上される！』

今後の取り組みや構想など

町全域に光ファイバーが整備されているので、財政状況を考慮しながら必要なシステムをのせることが可能です。当分の間は、IP告知システムの活用を主体として走り続け、タイミングを計り次のステップへ移ることとし、「身近な取り組み」を進めていきます。

今、考えていることは、

- ①ライブカメラを設置し、海面監視や川の水位状況を告知端末で視聴
- ②ブロードバンド加入率向上を図るため、WEBサイトやパソコンの魅力を知らせる。
 - ア) 「お孫さんの写真を編集・整理してみませんか？」教室の開催
 - イ) 「VHSビデオをDVDに変換しませんか？」教室の開催
- ③街中での「公衆無線LANスポットサービスの実施」
 - ア) 集客の多い「道の駅」「学習センター（図書室）」など
 - イ) 高校生徒数増加を目指し「情報化環境の整備された高校寮」
- ④地デジ再送信環境を活用した「自主放送（データ放送）」継続検討
- ⑤地域情報化アドバイザーの活用検討（小中学校電子黒板の利活用）